



聖隷クリストファー高校優勝の立役者

なかじま こたろう

中島 虎太郎 さん



PROFILE

なかじま こたろう (白羽区)
ポジションはライト、左投げ・左打ち
所属：小学生「御前崎ブレーブス」、中学生「小笠浜岡リトルシニア」

静岡県大会で見事優勝

中島虎太郎さんは、聖隷クリストファー高校に通う3年生。「全国高等学校野球選手権静岡大会」の代替大会として開催された「2020夏季静岡県高等学校野球大会」で、108チームの頂点に立ったチームの一員だ。

野球を通じて成長

中島さんが野球を始めたのは小学2年生のとき。自身も「野球小僧でした」と笑って話すほど、野球が楽しくて仕方なかったという。学年が上がるとうまくなりたいたいという気持ちが強くなっていき、毎日のように家の庭でティーバッティングやピッチング練習に励むようになった。

高校野球で活躍したいと思ったのは、初めて甲子園球場で高校野球を観戦した時のことだった。「プレーしている姿がとにかく格好良くて。自分もこの舞台で活躍したいと思ったんです」と振り返る。そんな思いはどんどん膨らんでいく。中学時は、高校で即戦力として力を発揮したいと、中学硬式野球チーム

「小笠浜岡リトルシニア」の門を叩いた。「小笠浜岡で野球の基礎や基本、体力、知識を徹底的に身につけることができたと当時を思い返す。」

中学3年生になり、憧れの甲子園へ出場するために進路選択したのが、「聖隷クリストファー」だった。「父も野球を教わったことがある名将・上村監督のもとで全国大会に出場しなかったんです。熱心な指導のおかげで、人間的にも精神的にも強くなれました」と話す。

初優勝の立役者

静岡県大会では、ここぞという場面でヒットを打ち活躍した中島さん。決勝戦でも決勝打を放った。「1点を先取された場面で打順が回ってきて、上村監督から『お前が試合を決める』と言われ気持ちが入りました。初球から思い切りバットを振り、逆転のライト前ヒットを打つことができました」と笑顔で話す。

中島さんは、大学に進学し野球を続ける予定だ。大学日本一のタイトルを獲って、プロ野球選手へ。夢を追いかけて今日もバットを振る。